

No.223
常総市
2018.11.15
発行



議会だより

8月定例会議号



8月21日
中学生議会の様子

視察研修報告

9月26日から10月24日までの間に、3つの常任委員会と議会運営委員会と議会だより編集委員会が視察研修を行いました。各研修内容をご報告します。

議会だより編集委員会

我々、議会だより編集委員会では、日帰りで、ウルトラマンの生みの親でもある円谷英二監督の出身地の福島県須賀川市で視察研修を行いました。

当市議会では議会改革特別委員会において議会だより編集委員会を常任委員会化することを決定したため、既に議会広報常任委員会を設置している須賀川市を訪れ、常任委員会設置までの取組と議会広報常任委員会の活動状況についての調査を行いました。今回の調査を生かして、議会だより編集委員会の常任委員会化を目指します。

10月12日
福島県須賀川市



須賀川市役所庁舎東側入口付近にあるウルトラの父のモニュメントで記念撮影



① 9月26日
福島県白河市



② 9月27日
福島県喜多方市



③ 9月28日
福島県田村市



文教厚生委員会

- ① 白河市 図書館の運営
 - ▽まちづくりの交流拠点として市街地への回遊を誘導する施設
 - ▽市内4図書館のネットワークが構築されているため、どこでも貸出返却が可能
 - ▽市内小学校すべてに学校司書を配置し学校に対して幅広く支援
- ② 喜多方市 小学校農業科
 - ▽食農教育を課程に位置づけ「総合的な学習の時間」を利用し、市の基幹産業である農業と融合を図っている。
 - ▽農業を通じて「いのち・共生と思いやり・環境・耐性・判断力」を学べる教育的効果
- ③ 田村市 廃校を活用したテレワーク拠点
 - ▽「ふるさとテレワーク事業」の認可を取得し、廃校になった小学校を改修後テレワークセンターとして活用
 - ▽運営主体を若手地元出身者とすることで地域に密着しやすい運営が可能
 - ▽オフィスパースの提供や事業サポートにより雇用の創出や企業支援が図れる。

視察を終えて

今回は「教育に関する事項」について視察を行った。白河市立図書館では学校支援に力を入れていたこと、喜多方市の取り組みでは普通授業では得られない教育効果が表れることが印象的だった。田村市のテレワーク事業についても興味深い話を聞くことができた。いずれも少子化問題を抱える自治体であったが、地域の特色を生かした独自の政策であり、大変参考になった。

Q 視察研修とは？

A 他の自治体等の先進的な取組について現地に赴いて直接調査すること

視察研修は訪れる側と訪ねられる側がありますが、当市でも議会関係の視察研修の受入れは、市議会に対応しており、平成29年以降は水害関連での申し込みが増えています。

議会運営委員会

● 神奈川県高座郡寒川町

議会におけるタブレット端末の導入
▽議会関連資料を電子化(ペーパーレス化)することにより、文書保存・管理の効率化並びに議会運営の効率化を図る。

視察を終えて

今回は、議員を筆頭にペーパーレス化に向かって邁進した寒川町議会
で視察を行った。近年、議会資料は、行政の煩雑化、高度化に伴い様々な資料が数多く提供されている。聞いたところによると、寒川町では、このタブレット端末等を導入したことにより、紙資料年間約10万枚の削減に成功したとのこと。当市議会においても、タブレット端末等を導入すれば、ペーパーレス化による経費削減や資料管理といった作業の効率化、情報伝達の迅速化、議会資料を整理・配布する際に関わっていた職員の負担軽減などの効果が期待できる。早期実現に向けて、さらなる調査・研究をしていかなければならないと感じた。

10月4日
神奈川県高座郡寒川町



2 10月24日
長野県東御市



1 10月23日
長野県長野市



総務委員会 建設経済委員会

1 長野県長野市

道路維持補修工事等に係る包括契約

▽長野市を大きく4つに分けて土木業者と包括契約を締結

▽莫大な箇所の舗装修繕要望があり、工事発注では契約事務など時間を要するが、包括契約により迅速な対応が可能

▽災害・大雨・大雪などによる通行被害時に、緊急対応が可能

▽パトロールや定期点検等により、定期的な維持作業が可能

2 長野県東御市

海野宿滞在型交流施設運営の在り方

▽海野宿の中核となる歴史的建造物を整備改修し、広く公開活用するとともに、ゆったりと長い時間滞在することにより、伝統的建造物への理解と文化振興を図り、あわせて地域活性化と観光振興を図っている。

▽契約期間中に指定管理者が撤退することになり、開設当初の設置目的に沿った事業を続けていくことが不可能になったことで、新たに地域ぐるみでの施設活用方法の検討などを行っている。

視察を終えて

今回は総務委員会・建設経済委員会が合同で視察を行った。長野市においては「道路維持補修工事等に係る包括契約」について視察した。長野市内各地区からの土木要望は、市民からの電話やメール等を含め年間約7,000件も寄せられているが、包括契約をしたことにより迅速に対応できるとのことであった。コスト削減や市民サービスの向上といった観点から、当市においてもインフラ全体のマネジメントをする計画ができるよう研究していく必要があると感じた。また、東御市においては歴史的建造物である「海野宿」の滞在型交流施設運営の在り方について視察を行った。26年度の開設当初は指定管理者による運営であったが、契約期間中に事業者が撤退することになり、施設運営の立て直しを図っている最中であった。設置目的に沿った運営を続けながら、初期投資費用を回収していくことの難しさを痛感した。

●が今回掲載した質問です（質問事項を通告順に記載）。本文中の固有名詞は、質問議員の意向により掲載しております。各議員の質問内容の詳細は、各議員のページのQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、動画で見ることができます。

一般質問

8月定例会議

8月4日～8月6日の3日間にわたり13人の議員が一般質問を行い、市政全般について活発な議論が交わされました。ここでは、質問・答弁の要旨の一部を掲載しています。
※原則として平成の元号は省略していません。

<p>● 1. 小林 剛</p> <p>税と政策について</p> <p>○あすなろの里について</p> <p>4 ページ</p>	<p>● 2. 中島 亨一</p> <p>防災について</p> <p>○市長公約で掲げた各項目の公益性と実現性を問う。2年間を振り返り見直しを行うべきと考えるか、いかがか</p> <p>○再任用職員の活用方法について</p> <p>5 ページ</p>	<p>● 3. 中村 博美</p> <p>防災先進都市の取り組みについて問う</p> <p>5 ページ</p>	<p>● 4. 寺田 洋</p> <p>交流人口の拡大について</p> <p>6 ページ</p>	<p>● 5. 岡野 一男</p> <p>○農山漁村再生可能エネルギー法について</p> <p>○異常気象の農作物への被害について</p> <p>○市役所内の組織編成について</p> <p>6 ページ</p>
<p>● 6. 茂田 信三</p> <p>道の駅について</p> <p>7 ページ</p>	<p>● 7. 水野 昇</p> <p>高崎坂東線の進捗状況について</p> <p>○都市計画の一部見直しについて（右下地区）</p> <p>7 ページ</p>	<p>● 8. 遠藤 正信</p> <p>防災行政無線と戸別受信機について</p> <p>○排水対策について</p> <p>8 ページ</p>	<p>● 9. 堀越 道男</p> <p>○学校部活動について</p> <p>○防災問題</p> <p>8 ページ</p>	<p>● 10. 関 優嗣</p> <p>○常総市の農業について</p> <p>○常総市防災アプリについて</p> <p>○防災先進都市について</p> <p>9 ページ</p>
<p>● 11. 中村 安雄</p> <p>○地方議員のなり手不足対策と今後の課題</p> <p>○教職員の勤務の現状について（小学校、中学校各1ヶ月の平均勤務時間）</p> <p>9 ページ</p>	<p>● 12. 石川 栄子</p> <p>○熱中症対策について</p> <p>○学校給食について</p> <p>○吉野公園に関わる事について</p> <p>10 ページ</p>	<p>● 13. 大澤 清</p> <p>○ブロック塀（工作物）の倒壊問題について</p> <p>○指定管理者制度について</p> <p>10 ページ</p>		

一般質問 JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI JOSOSHIGIKAI DAYORI 一般質問

議員

市民は、住民税の全国ランクに見合ったサービスを受けられているか伺う。

市民生活部長

当市の個人市民税は、均等割3500円、所得割は6%で、ともに標準的な税率を採用している。個人県民税の均等割は2500円、所得割は4%で、森林湖沼環境税1000円が含まれる。今後とも適正な課税、徴収、税の有効活用に努める。

議員

質問の答えになっていない。当市は全国ランクでは何位か。

税務課長

全国ランクの調べがつかない。標準的な税率で課税していると、いうことでご理解いただきたい。

議員

県では森林湖沼環境税を年間いくらか収税しているのか伺う。

市民生活部長

あくまでも決算見込みだが、収税は約17億5000万円です。

議員

市民は、住民税の全国ランクに見合ったサービスを受けられているか伺う。

市民生活部長

当市の個人市民税は、均等割3500円、所得割は6%で、ともに標準的な税率を採用している。個人県民税の均等割は2500円、所得割は4%で、森林湖沼環境税1000円が含まれる。今後とも適正な課税、徴収、税の有効活用に努める。

議員

質問の答えになっていない。当市は全国ランクでは何位か。

税務課長

全国ランクの調べがつかない。標準的な税率で課税していると、いうことでご理解いただきたい。

議員

県では森林湖沼環境税を年間いくらか収税しているのか伺う。

市民生活部長

あくまでも決算見込みだが、収税は約17億5000万円です。



小林 剛 議員

森林湖沼環境税を使って菅生沼の浚渫^{※せんでんせつ}是非やってもraitたいが、いかがか

答 県と協議して期待に沿いたい

常総市には25年から28年まで1750万円の実績がある。

議員

4年間で、県は約70億円収税し、市には1750万円来ています。菅生沼の浚渫をやってほしい。菅生沼は湖沼に入るか。

市民生活部長

当然入ると認識している。県と協議し菅生沼にも予算をできるように協議していきたい。

議員

住民税の話に戻るが、市民税の所得割を現在の6%から5.6%に下げると日本一安い住民税のまちとして宣伝できる。定住者増に大きな効果があると考えるかがか。

市民生活部長

約1億5000万円の収税減となる。水害から収税が回復してきた現段階では考えられない。

議員

目先で損をすることを恐れて何もしないということでは進歩がない。先を見て、将来的に人が集まり収税も上げていくというような考え方をしたらいい。

用語解説 浚渫：水底の土砂や岩石をさらうこと。 住民税：個人市民税と個人県民税を合算したもの。 森林湖沼環境税：20年から33年を課税期間として県が森林や湖沼の環境保全のために導入した税。

用語解説 避難行動要支援者：災害発生時等に自ら避難することが困難な者で、特に支援を要するもの。
避難支援等：避難行動要支援者の生命又は身体を災害から保護するために必要な措置。



避難行動要支援者のための避難支援等の個別計画はあるのか

答 現時点では策定できていない

議員 当市の地域防災計画は完成しているのか。また、防災計画には、それに伴う行動計画、行動マニュアルが必要だと考えるが、それはできているのか伺う。さらに、災害対策基本法で義務付けられている災害時避難行動要支援者名簿の作成等の個別計画を有しているのか伺う。

市長公室長

当市では、避難行動要支援者名簿は作成しているが、個別計画については現時点では策定できていない。現在策定中の地域防災計画や各種マニュアルの改正等に合わせ、具体的な個別計画の策定手順や避難支援の検討方法などを組み入れた避難行動要支援者の対応マニュアルについても作成を進めている。

議員

計画が進んでいるということなので一つは安心するが、これからは、今まであり得なかったことを想定しなければならぬ

時期に入っている。温暖化がここまで進み、台風がこれまで大きくなるような状況に至っては、今まで想定していたものでは対応できないということをも念頭に置き、行政が常に想定外を想定していかねばならない。行政に携わる人間は、特に人命を守るために一番に率先して行動しなければならぬという点を肝に銘じてほしい。この点についてはどう考えるか。

市長公室長

地域防災計画については、市職員、特に行政がまず何を行動するかという内容を記載した形になると考える。計画するだけで済ませずに、何度も訓練をして、職員が初動体験をした上で、自主防災組織や民生委員と連携する形でのマニュアル等の作成を進めている。

議員

防災計画も大切だけれども、人命が一番である。災害時に災害弱者となってしまう避難行動要支援者の人たちを守るための計画を一日も早く作ってほしい。



「無事ですタオル」の市内全戸配布を希望するが、実施する考えはあるか

答 前向きに考えたい

議員 最初に、私の町内での「無事ですタオル」の使い方を説明する。家具が転倒するおそれがあるといわれる震度5弱以上の揺れがあると、まず、自分や家族の身を守り、火の始末をし、玄関に「無事ですタオル」をかけた集会所に全員が集まる。その時、全員が「無事ですタオル」のあるなしを確認しながら集合場所に集まるので、もし、かかっていない家があったら全員で救助に向かう。自治区の中の班単位で救助する仕組みである。日本赤十字奉仕団三妻支部の役員会でも、一日も早く「無事ですタオル」で地震に対する防災に取り組みたいと話合った。「無事ですタオル」の市内全戸配布を実施する考えはあるか、防災先進都市をうたう市長の立場での決断をいただきたい。

市長公室長

タオルをかけていれば無事だ

ということが一目でわかる大変すばらしい安否確認の取組だと確信している。また、阪神・淡路大震災時には近所の住民によって救助された方々が約8割というデータも残っている。しかし、市としては、まずは自主防災組織の結成促進に努め、地域の防災力を高めていけるよう支援していきたいと考えている。

議員

防災組織が立ち上がるのを待つのではなく、既にある班という組織ごとに「無事ですタオル」の活動を広めていきたい。

市長公室長

一番大事なのは、「無事ですタオル」を全戸配布することではなく、地域のきずな、または防災意識の高揚であると考えています。まずは、地域のきずなを促進する手伝いを行政が積極的にしていくべきだと考える。

議員

「無事ですタオル」を手にする中で、地域のきずなを強め、防災意識を高めることができる。是非前向きに検討してほしい。

寺田 洋議員

豊田城の周辺施設及び私有地の有効活用
についての計画はあるか



答 プロジェクトチームで検討中

議員 今回は、交流人口の拡大について質問する。他市との差別化を図ること、具体的には常総市だけにはあるが近隣市には無い。その様な特徴的な施設や文化を作ることにより、交流人口を増やしていかなくてはならないと思う。その上で、まずは豊田城及びその周辺施設の有効活用を市としてはどの様に計画しているのかを伺う。

市長公室長

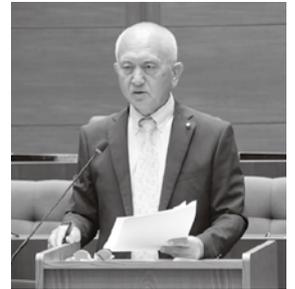
豊田城周辺については、広大な駐車場もあり、周辺の公共空間を含めた有効活用について、庁内でプロジェクトチームを構成し検討を重ねている。

議員

次に、常総アミューズメント構想について質問する。これは、地域交流センターを核として、その周辺一帯をアミューズメント、つまり遊び心を中心に考え、発展させていこうという考え方である。チームラボを呼ぶとか、

岡野 一男議員

市役所の事業の再点検と組織の縮小を考
えているのか



答 来年度には組織機構を見直す
ているか伺う。

議員 最近の職員の採用状況を見ていくと、臨時職員が多い。仕事が多いということであれば職員として採用すべきだ。過去の一般質問の答弁では人件費が増大していくことを懸念している雰囲気だった。また、本来職員がやるべき仕事を委託しているが、委託を少なくして職員を採用すべきではないか。行政は人材で動いている。人件費がかかるのは当然だと思うが、これらの点についてどのように考えるか。

総務部長

組織力が強いというのは人の力、マンパワーが必要だとは思いう。一方、財政面も大事な話で、人口も減少しており、人件費の抑制、定数の適正管理も大事な問題で、その辺を兼ね合いながら採用をしていきたい。

議員

マンパワーが非常に大事だという答弁には安心した。次に事業の再点検と組織の縮小を考え

総務部長

事業の再点検については、部課長を対象とした組織機構の見直しに係るヒアリングを実施している。11月議会で説明し、2月議会に上程する予定である。

議員

私は、今までは大きな市役所を作り上げて、行政の力で市民生活を豊かにするという考え方があったが、一般質問を繰り返す中で、小さな市役所でも仕事を精査すればやっていけると思うようになった。事務方トップの副市長の考えを伺う。

副市長

国等でも小さな政府を目指しており、権限移譲、事務移管に伴い地方自治体に多くの仕事に移ってきている現状もある。職員のレベルアップを図るとともに、必要最小限の職員で簡素で効率的な組織編成に努める。

議員

今後の事業の再点検と組織の見直しの成果に期待する。



坪単価2万3000円の土地を
13万2000円で購入するのはあり得ない

答 土地区画整理事業費から算出

えない。どういふことか。

都市建設部長

道の駅の土地購入金額は、想定される土地区画整理事業費が60億であり、その回収をするための平米単価から算出している。

議員

道の駅基本計画に関する2冊の冊子と官民連携調査の報告書の作製を戸田建設と随意契約により3100万円で業務委託しているが、完成した冊子等は100万円もかからない代物だ。1社と随意契約とした点及び高額な契約金額の根拠を伺う。

産業拠点整備課長

常総インター周辺の整備検討を官民連携事業として実施している戸田建設との随意契約が適切である。契約金額は、他の自治体と比較しても、内容的・金額的に差はなく適切と考える。

議員

道の駅の土地についてだが、戸田建設が地権者から坪単価2万3000円で取得したものを、市が坪単価13万2000円で購入する計画になっている。人件費を使って農地転用の事務手続をしたのも常総市なのに、なぜ価格がそこまで跳ね上がるのか。官民一体の土地転がしにしか見



高崎坂東線バイパスの進捗状況について
尋ねる

答 32年度に供用開始の予定

高崎坂東線バイパスの進捗状況の説明報告を求めます。

都市建設部長

高崎坂東線バイパスについては、向石下から古間木までの区間を25年9月議会において、市道として路線認定が採択され、26年度から事業に着手している。現在の進捗状況は、未買収地の用地取得については対象件数22件に対して残り3件となっており、工事については、当初計画の中で軟弱地盤対策の3カ所、蔵持、古間木、篠山地区の盛土工事を主に実施している。蔵持地区は29年度で完了した。今後の予定としては、未買収の用地取得と、2カ所の盛土工事とあわせて、沈下が治まってきたところから道路改良工事を行い、32年度の供用開始に向けて事業を進めていきたい。

議員

この道路については、各自治会長、班長を集めて、約800

0の署名を集めて請願で出しているわけだから、その皆さんの負託に応えなければならぬというのが、私の責任とと思っている。あと2年で供用開始できるのか。

道路建設課長

盛土工事箇所は軟弱地盤があり、32年の供用開始を目標に進めるが、状況によっては若干の遅れが出る可能性も念頭に置いていただきたい。

議員

軟弱地盤で崩れてしまつて大騒ぎしているところもあるため、執行部も大変苦労しているのではないかと思う。私も協力は惜しまないので、できるだけ早く事業を進めてほしい。



茂田 信二 議員

水野 昇 議員



遠藤 正信 議員

将来的に戸別受信機を安価な値段で市民に提供する計画はあるか

答 内部で早急に協議したい



市長公室長

27年の防災行政無線の供用開始後、聞こえにくいという市民の要望は解消されたのか。

議長

聞き取りやすいように設置場所の調査・選定を専門業者に委託し、その結果に基づき整備した。設置後聞こえにくいとの声が多い地域には増設で対応した。

議長

運用開始当初の子局の数はいくつで、現在はいくつあるのか。

市長公室長

当初子局数は石下地区に71局、水海道地区に125局、全体で196局あり、その後、水海道地区に6局を増設した。

議長

外でも家の中でも防災行政無線が聞き取れるよう、早急に戸別受信機を配備するよう要望していた。総務省が試験的に戸別受信機を配備したと聞いているが何機配備し、どういう形で配備基準を決めたのか伺う。

総務省の実験事業で100カ所に設置している。配備基準は、情報弱者を優先した。社会福祉施設や外国人の集まる店舗、障がいのある方や高齢者を選定。

議長

配備先の利用者の感想や反応は掌握できているのか。

防災危機管理課長

アンケートは年度内に行う予定。個人的に話を聞く限りではおおむね良好な感想である。

議長

色々な形で私にも良い反応が届いている。戸別受信機は大体1機いくらくらいするのか。

防災危機管理課長

100台以上の発注生産となるが、その場合、録音機能なしで8〜10万、録音機能つきで9〜11万程度を想定している。

議長

将来的に安価な値段で市民に提供する計画はあるか。

防災危機管理課長

単価が高いという壁があるが、内部で早急に協議していきたい。



堀越 道男 議員

水害を経験したからこそその発想で他自治体が真似したくなる取り組みが必要では

答 積極的に推進したい



保健福祉部長

災害時の医療費の減免策について市の対応を尋ねる。

議長

市の要綱に基づき、最長6カ月間の医療費の免除を行った。国からの特別調整交付金については、医療費等に対する減免の割合が基準を満たさなかったため申請にはいたらなかった。

議長

医療費の3%が基準で、それに達しないから申請しないというのでは被災者に寄り添う立場ではないのか。今年度から、県は国の交付金の対象にならなくても8割補償するという県の立場と比べて当時の市の対応はまずかつたのではないか。

保健福祉部長

当時、県にも交付金の相談をしたが、減免の認定方法や医療費に対する減免割合等について、申請は困難との回答を得た。

議長

相談だけで、県から困難と言

われて引き下がったというのは、市に落ち度があったのでは。

議長

今後は国の制度を注視しつつ申請にのっとった減免方法により財源確保に努めていきたい。

都市建設部長

西日本豪雨水害は常総水害と相似ている。真備町は堤防決壊で大惨事になった。愛媛県ではダムがあっても洪水時の緊急放流で大惨事。逆にダムがあるから洪水が起きる。常総水害での一番の要は堤防と考えるが、市の考えを伺う。

都市建設部長

堤防の整備状況ということで答弁する。用地取得83%、堤防整備率は33%で31年度完了を目標している。河川事業のスピードアップと住民の堤防意識の向上を図っていきたい。

議長

ダムの下流にいる我々としては、やはり一番の解決は堤防の強化だ。国がダムではなく堤防に予算をどんどん使うように常総市は発言していくべきだ。

用語解説 次世代人材投資交付金：次世代を担う農業者となることを志向する者に対して交付される資金。
農福連携：障害者等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組。



新規就農者に対するサポート等を尋ねる

答 年間150万円を3組に交付

経済環境部長

議員 当市の農業の現状を尋ねる。
経済環境部長 常総市において農業者の高齢化や後継者不足により農業者の減少が続ぎ、今後更なる農業生産力の低下が懸念されている。次世代の農業を支える担い手の確保が急務となっている。

議員 当市の今後の農業の可能性について行政の考えを尋ねる。

経済環境部長

当市は肥沃な農地を有し、首都圏に近く、圏央道の整備により大消費地と直結するなど、地理的条件に恵まれている。常総インター周辺整備事業を、農業を生かしたまちづくりの核とし、その効果を市全体の農業の活性化に波及させたい。

議員

現在、市内で新規就農を考えている方に対して、また県外・市外からという方も含めた方に対するサポート等を尋ねる。



当市の議員のなり手不足に対する改善策について伺う

答 国の動向を注視していきたい

議員

茨城県には44市町村あるが、前々回の市町村議会議員選挙は大洗町だけが無投票だったが、前回の選挙は5地区が無投票であった。当市も無投票となった。人口の減少等もあるし、若い人の議員のなり手が少ないという話も聞く。そこで、現在の石下と水海道の有権者数及び議員1人当たりの有権者数を伺う。

総務部長

6月1日現在における当市の有権者数は、5万552人で、水海道地区が3万1949人、石下地区が1万8603人。議員数は水海道地区16名、石下地区4名となっている。有権者の比率は、水海道が63%、石下が37%なので、議員定数の22に換算すると水海道地区が14人、石下地区が8人ということになる。

議員

なぜこのように地方議員のなり手不足の問題が急速に進んできているのか。全国的にも問題

となっているような報道もされている。まずは、議員の報酬の問題がある。議員になれば交際費等の支出も多く報酬だけでは生活ができない。また、議員年金が廃止されたことも挙げられる。さらに、兼業行為の問題もある。人口の少ない町では事業者が町のリーダー的存在であることが多く、兼業の制限を受ける議員に立候補するということでは地域の損失と捉えられる。行政として何か改善策はないか。

総務部長

総務省のまとめた町村議会のあり方に関する研究会では、①広範な事項が議決対象で専門性が高く拘束時間が長い、②定数が少ない自治体ほど議員の負担が多い、③議員報酬だけでは生計を立てていけない(町村の平均報酬月額28年度で21万3000円)、④兼業禁止、請負禁止の実態的影響が大きい、⑤昼間を中心の議会運営では兼業議員が活動しにくい、⑥就業規則等で兼業が困難な場合がある、以上6点が要因とされている。

関 優嗣 議員

中村 安雄 議員

□ 殿 質 問 JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI JOSOSHIGIKAYORI □ 殿 質 問

用語解説 町村議員のあり方に関する研究会：小規模な地方自治体における議会のあり方等について具体的に検討する研究会で、大学教授等が委員となっている。



石川 栄子 議員

ハスの花の池を再生して！
異常繁殖したカメの対策を伺う

答 カメ捕獲大作戦をやりたい

どう対応するのか伺う。

経済環境部長

議員 常総観光ガイドブックにも紹介されていた吉野公園のハスの花が全滅し、葉っぱも1つもなく、代わりに亀が大量に生息している。ハスの花は毎年きれいに咲いていて、池がピンク色に染まるほどで、満開のころは朝早くからカメラマンが行き来していた。異常な繁殖をしている

亀は、通称ミドリガメ、正式名称はミシシッピアカミミガメといつて、大半はアメリカから輸入される。甲羅の大きさが数センチのころは目の上に赤い筋が入っていて甲羅は緑色で可愛いペットショップやお祭りの屋台で売られているようだ。成長すると30センチにもなり甲羅も黒ずんで可愛くないので捨ててしまったのではないかと思われる。亀はヘラブナのいる釣り堀にも入って来ている。藻やミズゴケや稚魚も食べるとの事で、ヘラブナに対する悪影響も考えられる。この亀の異常な繁殖に

ミドリガメは、捕獲器の設置により根気強く減少を図りたい。また、亀の減少によりハス池の復活も図れると考えている。

議員

亀がすごい勢いで増えている。環境省に聞いたところ、来年度から本格的駆除を実施すべく、今年度いくつかの所でモデル事業を実施しているようだ。何とかモデル事業となるよう、市長からもお願いしてほしい。圏央道からも近いので、今まで咲いていた公園中州の池、今咲いている老人ホームの前の池、公園北側のあしが茂って汚くなっている池の3カ所にハスの花の復活と拡充をお願いしたい。

市長

あのすばらしいハス池を復活させたいのは同じ思いだ。環境省にも問い合わせをしてミドリガメ捕獲大作戦をやりたい。

議員

亀の終生飼育の啓蒙も併せてお願いしたい。



大澤 清 議員

指定管理者制度の活用拡大について伺う

答 積極的に活用していきたい

どの判断材料として活用すべきと考える。先般、公共施設の利

議員

※指定管理者制度は公共施設の管理運営を営利企業、財団法人、NPO法人等に包括的に代行させることにより、施設の適正な管理を確保しつつ、民間等の能力を活用し、住民サービスの向上や行政コストの削減を図るため導入するものと考えられる。厳格な評価をする上で、当市の指定管理者に対し、第三者評価制度を取り入れるべきでは。

保健福祉部長

評価制度を取り入れることや、現在設置している既存の委員会等の活用なども含め、関係各課とも今後協議していく。

議員

モニタリングや評価について、一つは指定管理者がみずから行う自己評価、一つは考察ではなく、行政が直接行う内部評価があつてしかるべきと考える。利用者アンケートやモニタリングも必須だ。その結果、指導や改善命令を下すとか、指定解除な

総務部長

市民サービスを低下させない本町の行政改革の取り組みの一環として、費用対効果を見きわめながら、市民サービスのさらなる向上に寄与すると認められるものについては、積極的に指定管理者制度を活用していきたいと考えている。

議員

前向きな回答ということで受け止める。民間のノウハウなどを最大限に生かして市民サービスの向上に結ばれば何よりだ。当市の公共施設で指定管理をすすめる可能性を秘めているならば、どんどん研究して、議会でもよくもんで、市民サービス向上という点に重きを置いて、邁進していきたいと考えている。

平成30年 8月定例会議 審議案件と結果

色の付いていない部分は全会一致、色付き部分は賛否が分かれた案件です。

議案番号	議案名	審議結果
議案第19号	常総市議会議員及び常総市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第20号	財産の取得について	可決
議案第21号	市道の路線の変更について（3384号線）	可決
議案第22号	市道の路線の変更について（3992号線）	可決
議案第23号	市道の路線の認定について（3994号線）	可決
議案第24号	平成30年度常総市一般会計補正予算（第2号）	可決
議案第25号	平成30年度常総市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第26号	平成30年度常総市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第27号	平成30年度常総市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第28号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書提出について	可決
議案第29号	常総市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	可決
認定第1号	平成29年度常総市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成29年度常総市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成29年度常総市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	平成29年度常総市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成29年度常総市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成29年度常総市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成29年度常総市大生郷特定公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成29年度常総市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成29年度常総市水道事業会計決算認定について	認定
推薦第3号	常総市各種委員の推薦について ○介護保険運営協議会委員 中島亨一 中村安雄 石川栄子	同意
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情	採択

《会議の欠席等の状況》

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 9/5 本会議 中村安雄（離席） | 9/6 本会議 寺田洋（欠席） |
| 9/10 予算・決算特別委員会 喜見山明（欠席） | 9/11 決算特別委員会 坂巻文夫（早退） |
| 9/13 常任委員会 中村安雄（離席） | 9/14 常任委員会 坂巻文夫（欠席） |
| 9/20 本会議 喜見山明（欠席） | |

平成30年 8月定例会議 議員の賛否

議案などに対して賛否の分かれたものを掲載しています。

※議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

※当市議会は3名以上で構成される団体を会派として認めています。

○：賛成 ×：反対 棄：棄権 -：欠席

議案番号	正政会								未来					無会派						
	関優嗣	大澤清	寺田洋	堀越輝子	坂巻文夫	遠藤正信	中島亨一	坂野茂実	小林剛	新田宏安	倉持守	中村博美	岡野一男	中村安雄	茂田信三	喜見山明	石川栄子	水野昇	堀越道男	風野芳之
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	×	○	×	
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	×	
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	×	※
認定第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	×	○	×	

※議長は採決に加わらない



総務委員会は7月29日に地域交流センター駐車場で行われた第3回常総市消防団消防ポンプ操法競技大会において、日頃から錬磨した消防技術の成果を視察しました。

建設経済委員会

は、9月14日に十一面山で、十一面山平地林保全整備促進協議会会長の立ち合いの下、現状を確認する調査を行いました。また、調査結果に基づき一般会計歳入歳出決算認定の審査を行いました。



インターネット映像配信中!!



QRコード



<http://www.josocity.stream.jfit.co.jp/>

スマートフォンやタブレット端末でも視聴できます。

【アクセス方法】

市ホームページ
↓
常総市議会
↓
議会映像配信

11月定例会議日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
18	19	20	21	22	23	24
11月			議会運営委員会(確定)			
25	26	27	28	29	30	1
			本会議(確定)			12月
2	3	4	5	6	7	8
		本会議一般質問	本会議一般質問	本会議一般質問	一般質問議案質疑委員会付託	
9	10	11	12	13	14	15
	予算特別委員会	常任委員会(分科会)	常任委員会(分科会)		予算特別委員会 本会議	

議長のひとこと

今年の夏は大変猛暑だった。西日本における水害、3年前の常総市水害を思い起こす。地形の違いとは言うがあの光景には唖然とした。9月10日、市の防災の日。シンポジウムが開催された。今、常総市には全国各地から視察研修が年間160回以上の申し出があり対応をしている。しかし、想定をつかない自然災害は今後も続く。我々一人一人対応を考えなければならない。



常総市議会議長 風野芳之

編集後記

今号の表紙になっている、本年度の中学生議会を傍聴させていただきました。皆さんの質問に対して執行部は真摯に受け止め答弁をしております。質問を聞いておりますと、私たちが質問をしていることと似ており、よく勉強しているなと感心したところで、特に、防災、通学路など、私たちの考えと同じであります。これからも、皆様の考えや要望に沿うよう頑張って議会活動に邁進します。

倉持 守

議会だより編集委員会

- ・委員長 倉持 守
- ・副委員長 堀越 輝子
- ・委員 関 優嗣
- 大澤 清
- 坂野 茂実